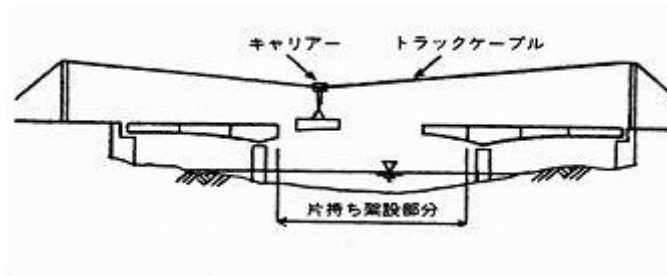


# ケーブルクレーン片持ち式工法

## イメージ図



## 工法および特徴

1. ベント工法にて架設した側径間等をアンカー支間とし、中央径間を片持ち架設する。
2. 各ブロックの運搬、架設は全てケーブルクレーンによる。片持ち部に重機が載らないため、主桁の負担は少ない。
3. 架設中の構造系が完成系と異なるため設計時よりその対策を決定する必要がある。
4. アンカーの設置、ケーブルクレーン設備等の組立・解体に日数を必要とする。

## 架設状況

